



今年度 注目の事業をチェック!

空港シャトルバス運行事業

4,200万円



行橋千春委員 もう少し早い始発の便の検討はできないか。

企画空港政策課長 さまざまな年代、目的で多くの方に利用いただいていますので、最大公約数で一番いい形を検討していきたいと考えます。

勝又一徳委員 空港から多古に戻る便で夜8時半の便から次が1時間半空いているが、何か工夫できないか。

企画空港政策課長 全体的な見直しの中で、運行間隔が均等にとれないか、運転手の勤務状況を踏まえ、検討してまいります。

保育システム導入事業

723万円



橋本孝之委員 システムはどのようなものか詳細は。

こども園事務長 各学年にパソコン、各クラスにタブレットを設置する予定で、個別の指導計画等さまざまなものをシステムの中で作成することができます。また、園児一人一人の登園、降園の時間がわかるものを導入する予定で、これにより在園状況の確認や、出席簿が自動的に作成できます。さらに保護者からの出欠席の連絡や、園からのお知らせ、アンケート調査などの、やりとりをスマホでできるようになります。

病児保育事業

1,373万円



石渡悦子委員 施設の利用料90万円の積算根拠は。

子育て支援課長 アンケートやこども園利用者数などから算出した年間利用の延べ人数に5時間以上の場合の利用料を掛け、そこから利用料免除となる世帯の分を差し引き、90万円の見込をしています。

佐藤利治委員 利用者がいない時、職員は何をするのか。

子育て支援課長 病児保育所の中の環境整備や、こども園の方に出向き、病児の方で流行っているような病気、こども園での状況、流行している病気を防ぐための対応方法などを、巡回支援という形で行うことを考えています。

庁舎等停電対策事業

3,602万円



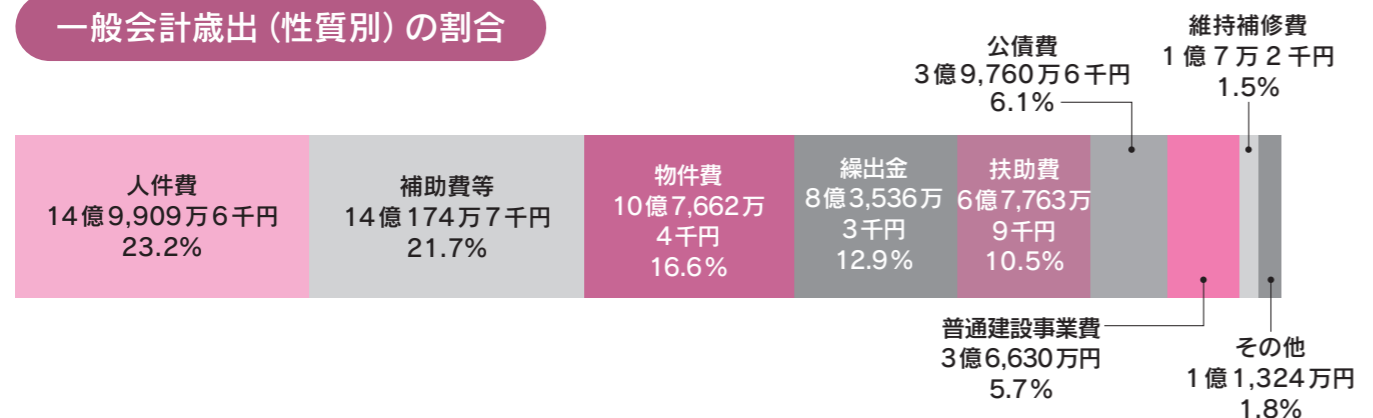
石渡悦子委員 庁舎、コミプラ、保健福祉センターということで説明がありましたが、内容等をお示しいただきたい。

財政課長 庁舎の発電ですが、庁舎全体を賄える発電機と発電設備工事費を計上しています。

保健福祉課長 保健センターは災害時に福祉避難所となり、避難される方は高齢で介助が必要な方などで、特に台風災害については熱中症が懸念されることから、和室36畳に停電時に非常用発電機を使用して、空調管理できるエアコンを整備します。

生涯学習課長 コミュニティプラザについては、昨年の台風被害の教訓を生かし、長期停電の際にも最低限の水の供給と浄化槽の運転が可能になる発電機を2台導入する予定です。

一般会計歳出(性質別)の割合



その他は4千万円未満を一括して計上した。
(災害復旧事業費、積立金、投資及び出資金貸付金、予備費)

空港周辺開発区域整備事業(町道鷹ノ巣・二本松線詳細設計等)

4,098万円



設計等が始まる町道の起点周辺

石渡悦子委員 10年という数字が示されていましたが、全体像の中で、全線開通までが10年なのか。

都市整備課長 この路線については第1工区、第2工区ということで第1工区を進める予定ですが、第1工区の完了も、何年供用という目標もまだ立てられていません。第2工区についても、第1工区の進捗を見てスケジュールを立てますので、最低でも20年で全線が開通できればと考えています。